

2023 年度
(令和 5 年度)
事 業 報 告

社会福祉法人 悠久会

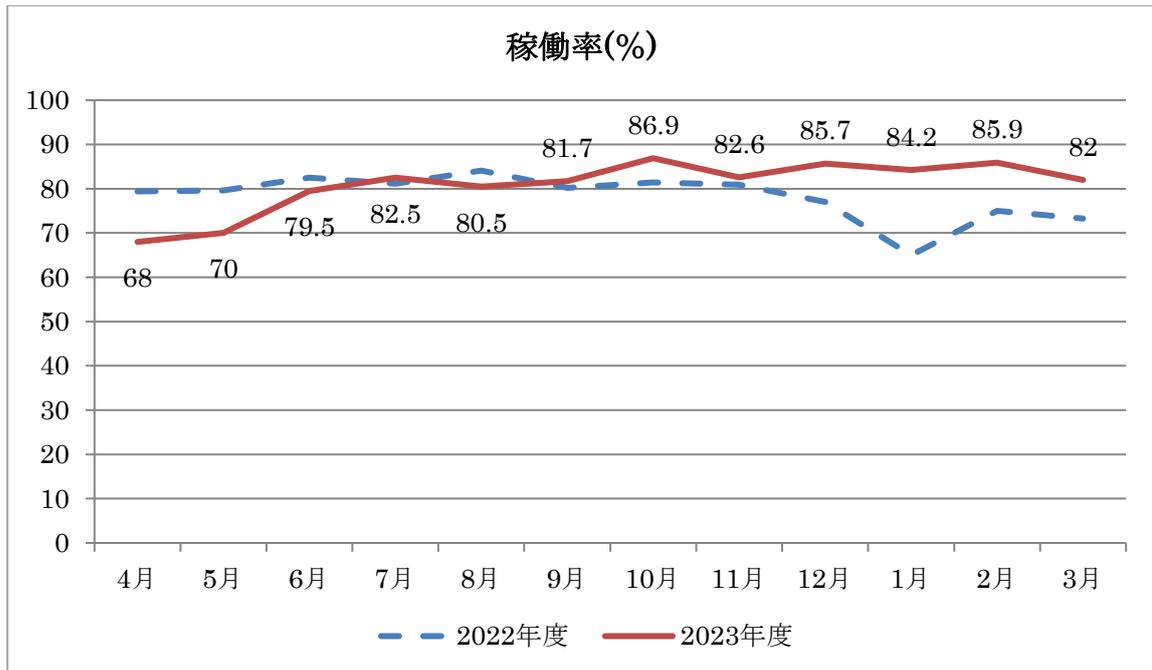
事業別概要

1. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城
2. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 短期入所生活介護
3. ユニット型特別養護老人ホーム八千代城
4. 八千代城デイサービスセンター
5. グループホーム悠々やちよ
6. ケアハウス青空
7. 八千代市在宅介護支援センター八千代城

1. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 長期入所 定員 68 名

(1) 稼働状況

年月	2023 年(令和 5 年)									2024 年(令和 6 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	1389	1477	1623	1741	1699	1668	1833	1686	1807	1775	1695	1729
100 % 時	2040	2108	2040	2108	2108	2040	2108	2040	2108	2108	1972	2108



年間平均稼働率 80.85% 前年度比 +2.53%

- ・年間入所者数 44 名 ・年間退所者数 31 名(前年度入所 21 名 退所 25 名)
- ・平均要介護度 3.60

○前年度終盤に新型コロナクラスターが発生した影響で今年度は 60% 台の低稼働からスタートした。その後新規入所受け入れを進め稼働を向上に努めたが、年度を通じてほぼ常時複数名が入院している状況と長期入院からの退所が多かった影響もあり 80% 台の稼働に留まってしまった。

○今年度も新型コロナ感染者が施設内で発生した時があり、その際は 10 名を超える入院者が生じた。感染症発生時は新規入所の受け入れも停止せざるを得ない状況となるので稼働への影響は大きい。

○利用者の重度化もあり入院した場合に長期間の入院となる傾向がある。この点については年度後半から空床型短期入所の受け入れを行ない少しでも空きベッドを稼働させるように努めた。

○年間延べ入院数 2,453 人（稼働率約 10%相当）（前年度 2,699 人）

○前年度と同様に他施設と入所に向けての動きが重なる事が複数回あり、入所者の取り合いのような状況がある。

（2）報告事項・課題点等

○感染症関連

- ・9月と2月に施設内で新型コロナ感染者が発生。従来型は多床室ということもあり、一度発生すると感染者が多数になってしまう傾向にある。以前発生時は救急搬送を要するような重症者が複数発生したが、今年度はそのような事はなかった。（入院となる利用者はいた）
- ・面会については6月から予約制で土曜日・月曜日の週2回の直接面会を再開した。ただご家族からはより一層の制限緩和の希望があるので、早期に検討していく必要がある。

○事故等

- ・転倒骨折等の大きな事故 2件あり（行政機関へ報告済）
- ・その他軽微な事故・ヒヤリハットは多数あり

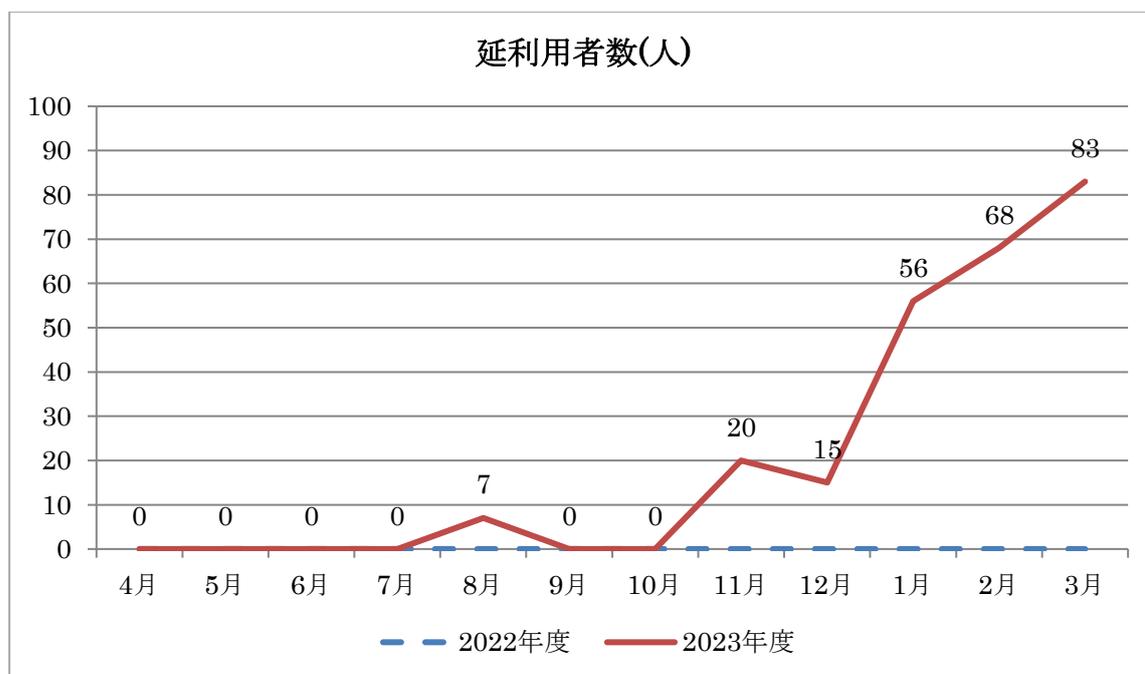
○その他

- ・介護職員数の不足傾向は続いている。非常勤職員の補充はあるが、常勤職員の補充は少ない状況。特に夜勤の可能な職員数が不足。
- ・看護職員については前年度末から年度当初にかけて人員不足の為、介護報酬が減算となってしまい大きく減収となった。看護職員は介護職員以上に直接雇用が厳しい状況にある。退職者が生じた際に速やかに補充するために派遣を利用することが多く、人件費負担が大きくなっている。
- ・職員研修についてはオンライン研修を実施。基準上必要な研修は満たすことができた。

2. (従来型)特別養護老人ホーム八千代城 空床型 短期入所

(1) 稼働状況

年月	2023年(令和5年)										2024年(令和6年)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
延べ利用者数	0	0	0	0	7	0	0	20	15	56	68	83	



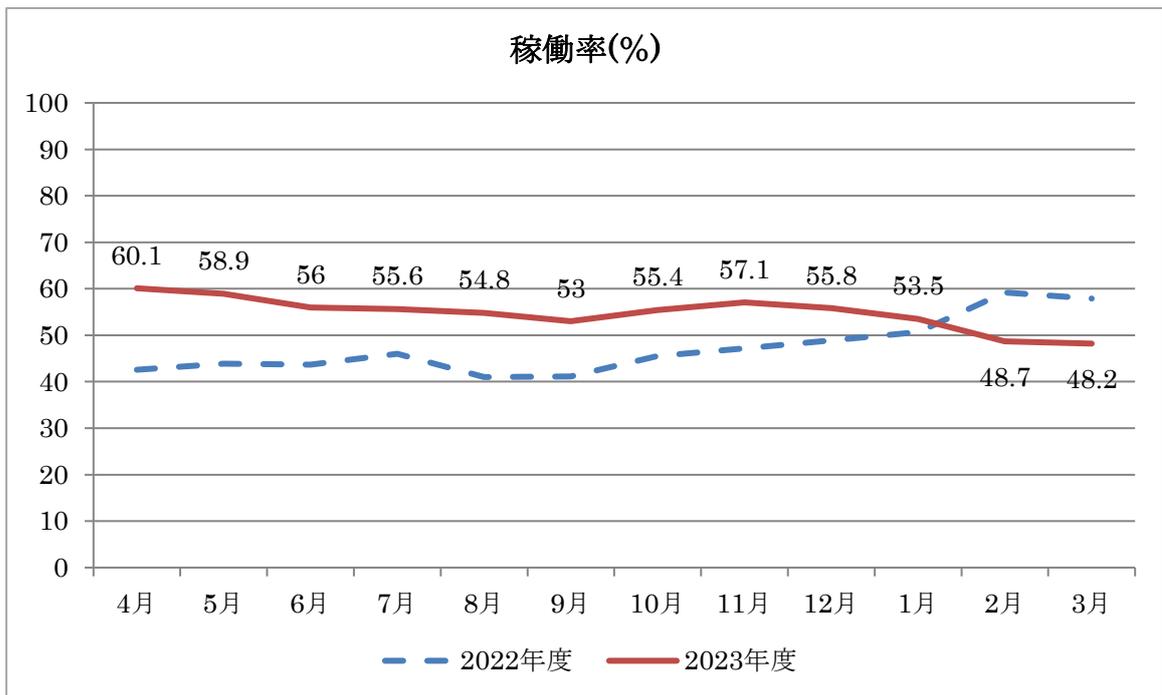
- ・年間延べ利用者数 249名
- ・平均要介護度 3.25

- 長期入所において常時入院者が発生している状況もあり、年度中盤より空床型短期入所の運用を開始。
- 新規で長期入所者を受け入れる際のタイムラグ短縮にも活用。
- 次年度以降も運用を継続していく。空床型であるため運用管理は気を付けて行う必要がある。

3. ユニット型特別養護老人ホーム八千代城 定員 45 名

(1) 稼働状況 ※職員数不足により 45 床中 30 床のみ稼働中

年月	2023 年(令和 5 年)									2024 年(令和 6 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	812	822	756	776	765	716	774	771	779	747	636	673
30 床満床時	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	870	930
45 床満床時	1350	1395	1350	1395	1395	1350	1395	1350	1395	1395	1305	1395



年間平均稼働率 54.80% 前年度比 +7.46%

(※45 床中 30 床のみ稼働中 30 床満床で稼働率 66.66%)

- ・年間入所者数 5 名 ・年間退所者数 8 名 (前年度 入所 14 名 退所 8 名)
- ・平均要介護度 3.60

○現在稼働している 30 床がほぼ満床の状態スタートしたが、年度中 8 名の退所に対し、5 名の補充しかできなかった。退所後の補充までに時間を要したこともあり右下がりに稼働が下がってしまった。年度終わりは 30 床中 25 名入所であった。

○利用料（居室料）が従来型と比べて高いので従来型と比べると希望者は少ない傾向にある。

(2) 報告事項・課題点等

○感染症関連

- ・1月に3Fにて新型コロナ感染が発生。複数名の入居者と職員が陽性となる。
- ・面会については6月から予約制で土曜日・月曜日の週2回の直接面会を再開した。ただしご家族からはより一層の制限緩和の希望があるので、早期に検討していく必要がある。

○事故等

- ・医療機関受診を要した事故 0件
- ・その他軽微な事故・ヒヤリハットは多数あり

○その他

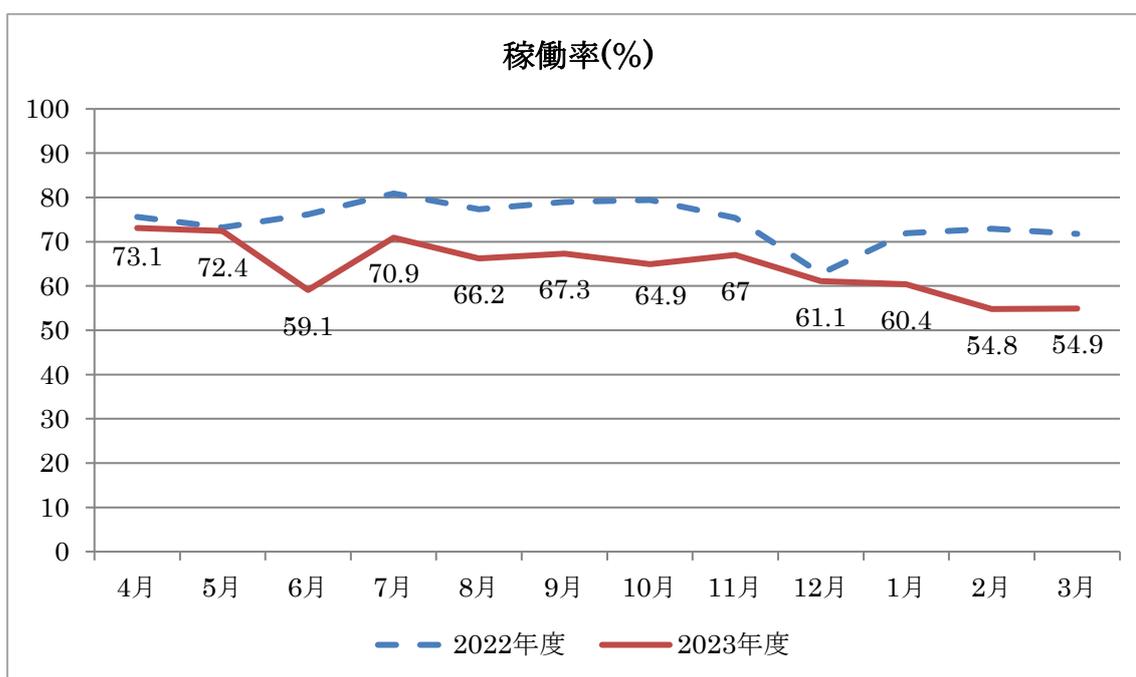
- ・新型コロナの影響や職員不足により行事等の取り組みがあまりできなかった。次年度以降もっと実施していくことが課題である。
- ・利用者の重度化が進んでいる。褥瘡のハイリスク者も増加傾向にある。
- ・職員研修は主にオンラインにより実施。
- ・ユニットリーダー研修(講義・演習のみ)2名受講。実地研修(他施設実習)が未受講であるため次年度以降受講を進めていく。

4. 八千代城デイサービスセンター

定員 18名/日

(1) 稼働状況

年間営業日数	309日
延べ利用者数	3,585人
100%稼働時延べ利用者数	5,562人
1日あたり平均利用者数	11.6人
年間稼働率	64.37%
平均要介護度(2024年3月)	要介護1.9
登録利用者数 (2024年3月現在)	23名



- ・年間平均稼働率 64.37% 前年度比 -10.38%
- ・平均介護度 1.9
- ・新規利用者数 13名 利用廃止者数 17名 (前年度新規 12名 廃止 9名)

○今年度新規利用者は13名で前年度と同程度であったが、長期入院・特別養護老人ホーム等への入所・永眠などの理由により利用廃止となる利用者が今年度は多かった。(利用廃止人数 前年度9名→今年度17名)

○利用廃止分を埋めることができなかった為、稼働が年度を通じて低下傾向となってしまう。稼働率年度当初70%台だったが、年度終盤には50%台まで低下。

○見学や相談等の問合せは随時ある状況であり、ニーズがないというわけではないと思われる。アピールポイントが課題か。

○既に利用しているケースを担当している居宅介護支援事業所等から新規の他の利用者の依頼がある状況。利用ケースのない居宅介護支援事業所等にも営業活動はしているが、新たな居宅介護支援事業所等からの依頼は得ることができなかった。

(2) 報告事項・課題点等

○広報活動

- ・ Facebook 更新が月1回程度ということもあり閲覧数は横ばいである。
- ・ 広報誌の発行は今年度もできなかった。次年度検討とする。

○事故

- ・ 医療機関を受診した事故 0件
- ・ ヒヤリハット・医療機関受診を要しなかった軽微な事故 3件

○苦情等

- ・ 苦情 0件

○行事等

- ・ 新型コロナウイルスの影響により中止していた外出行事を再開。花見や買い物外出などを実施。
- ・ 施設内行事においてもしばらく中止していた地域からのボランティアの受け入れを再開した。ボランティアによる音楽演奏の披露など利用者は楽しまれている様子であった。

○感染予防対策

- ・ 新型コロナウイルスが5類へ移行した後も基本的な感染対策は継続。

○地域交流・ボランティア等受け入れ

- ・ 新型コロナウイルスの影響により前年度までは外部ボランティアの受け入れを中止していたが、令和5年7月から受け入れを再開した。敬老会やクリスマス会時に音楽演奏等をしていただいた。

○運営推進会議

- ・ 前年度は書面のみだったが、今年度は集合にて実施。(2回)

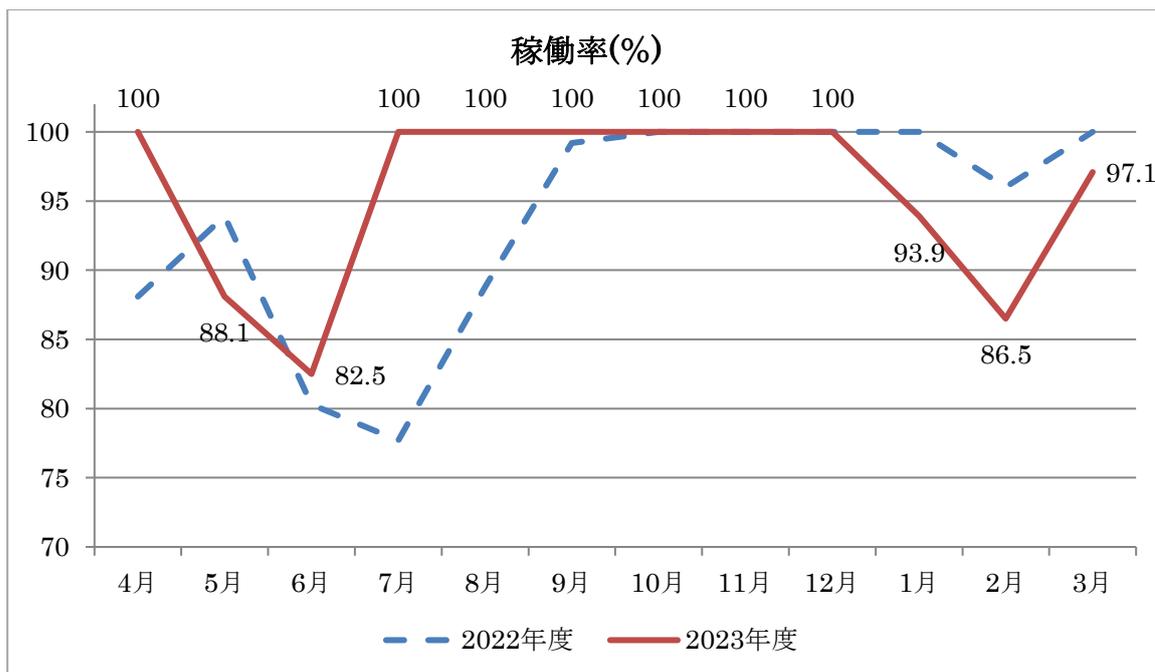
○実習生受入

- ・ 介護等体験実習生 12名受入
- ・ 社会福祉士養成実習 1名受入
- ・ ワクチン接種確認・健康チェック等感染予防を実施しての受け入れを行う。

5. グループホーム悠々やちよ 定員 9 名

(1) 稼働状況

年月	2023 年(令和 5 年)									2024 年(令和 6 年)		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	270	246	223	279	279	270	279	270	279	262	226	271
100 % 時	270	279	270	279	279	270	279	270	279	279	261	279



年間平均稼働率 95.69% 前年度比 +2.00%

- ・入居 5 名 退居 5 名 (前年度 入居 6 名 退居 6 名)
- ・平均要介護度 2.17 (前年度 2.61)

○退居理由

重度化(身体機能低下)により 2 名が併設特別養護老人ホームへ入所、2 名が他法人の特別養護老人ホームへ入所。入院後永眠された方が 1 名。

○退居 5 名あるも、それぞれの退居後速やかに新規ケースの入居が行えたので、稼働の落ち込みは短期間で解消できた。

○入居の相談・問い合わせは年間で 20 件あり。依然としてニーズはある模様。

(2) 報告事項・課題点等

○入居者状況

- ・平均要介護度は前年より多少軽度になっている。
- ・2月中旬 新型コロナウイルス施設内感染あり
入居者 陽性者2名 みなし陽性6名
職員 陽性者3名
陽性入居者1名は肺炎を併発、入院となる。入院中に身体機能が著しく低下するも退院後徐々に回復。

○活動・レクリエーション等

- ・新型コロナウイルスが5類に移行後は、感染対策に留意しながら面会・外出・外泊を再開した。
- ・ボランティアの受入れなど地域交流も徐々に再開している。

○職員状況

- ・前年度は最低限の配置で、時間外勤務が常態化していたが、今年度終盤は概ね必要な人数を確保できる状況となっている。
(有休休暇の取得もできるようになっている。)

○事故等

- 行政機関への報告を要するような事故はなかった。
- 医療機関受診を要しない転落・転倒などの事故は複数件あり。

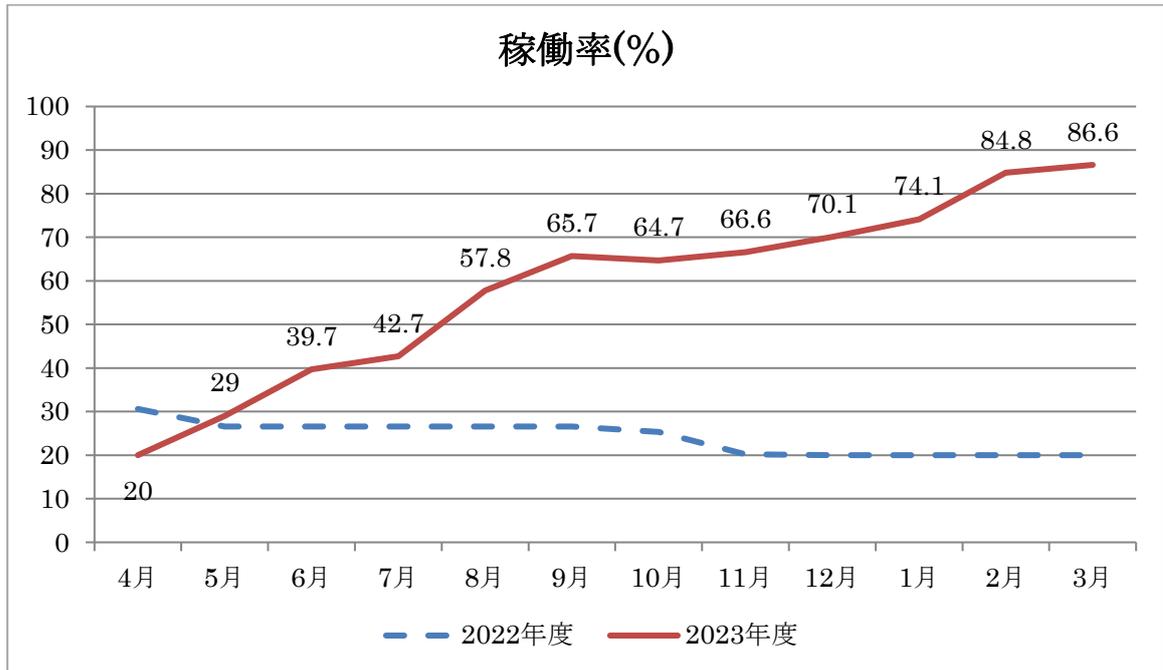
○その他報告事項

- ・運営推進会議…前年度は新型コロナウイルスの為、書面による実施だったが、今年度は集合にて実施した。(6回)
- ・法定研修については計画に基づきオンラインにて実施。
- ・「認知症介護実践者研修」1名受講 「認知症介護基礎研修」2名受講
- ・実習生受入 社会福祉士養成 1名

6. ケアハウス青空

定員 15 名

(1) 稼働状況



年間平均稼働率 58.53% 前年度比 +34.41%

入所 12名 退所 2名 (前年度 入所 0名 退所 1名)

2024年3月末現在 入居者数 13名

- ・今年度より新規入所者受け入れ体制等を見直すとともに、外部紹介会社の一層の活用や近隣関係機関への営業活動などの効果があり、年度内に入居相談が複数あり、そのうち入居に繋がったケースが多数あった。
- ・今年度より人数を限って生活保護受給者の受入れを開始。
(3月時点2名入居中)
- ・年度末には定員15名に対し13名入居というところまで稼働が向上した。
(年度当初は3名)
- ・今後は待機者の確保・サービスの質の向上など上昇した稼働率の維持が課題。

(2) 報告事項・課題点等

○職員状況

- ・入居者数増加に伴い職員体制見直し実施
→2023年9月 介護職員1名入職
相談員1名・介護職員2名体制となる。

○行事・レクリエーション等

- ・新型コロナウイルス感染症により中止していた外出行事を今年度は実施。
ラベンダー観賞・コスモス観賞 (佐倉市)
美術展 (八千代市) など
- ・入居者数増加に伴い興味・好みが多様化してきているので、バリエーション

を増やすなど検討する必要がある。

○実施サービス等

- ・職員による通院送迎・付添実施
- ・職員・外部ヘルパーによる軽介護(居室内清掃・入浴時見守り等)
- ・外部ホームヘルパー利用者数 1名(年間実人数)
- ・デイサービス利用者数(当法人・外部) 4名(年間実人数)

○感染症状況

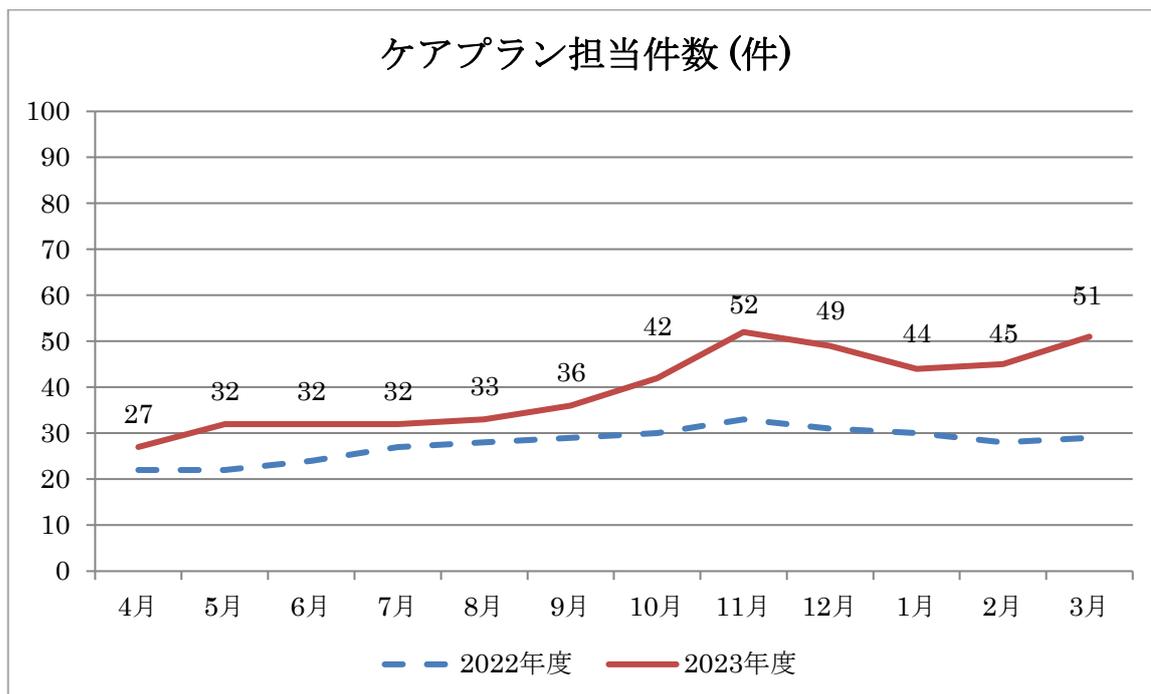
- ・2023年12月 インフルエンザ陽性 入居者1名
- ・2024年3月 新型コロナウイルス陽性 入居者4名 職員1名
いずれも入院はせず施設内での療養。重症等にはならずに治癒する。

○課題等

- ・入居者数が増えるに伴い、入居者間のトラブルや入居者と職員間でのトラブルが増えてきている。都度相談員等が介入し対応に努めている。
- ・老朽化に伴う設備不具合が発生している。

7. 八千代市在宅介護支援センター八千代城

(1) 稼働状況 (※国保連請求件数より)



- ・ケアマネージャー1名体制での運営期間がほとんどであった。前年度も同様に1名体制であったが、今年度は更新研修がなかったこともあり、前年度より担当件数を増やすことができた。
- ・地域包括支援センターを通じたケース紹介が多かった。
- ・認定調査の受託を積極的に行うよう努め、31件実施した。

(2) 報告事項・課題点等

○令和5年4月に八千代市による実地指導あり

「退院・退所加算」に伴う記録に不備があったケースがあり返戻となった。
また記録についても不備があり、改善し報告書を提出する。
以後、定期的に点検を実施し、不備のないように努めることとする。

○各種研修会・交流会の参加に努め、ケアマネジメントの質の向上や地域交流につなげることができた。

○以前関りのあったケースから苦情1件あり。

特別養護老人ホーム八千代城

1. 延べ利用者数及び稼働率（介護報酬算定実施人数による。入院者・外泊者等除く含む措置）

※延べ利用者数には空床型短期入所利用者数を含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用者数	1,389人	1,477人	1,623人	1,741人	1,706人	1,668人
稼働率	68.1%	70.1%	79.6%	82.6%	80.7%	81.8%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	1,833人	1,706人	1,822人	1,831人	1,763人	1,812人
稼働率	87.0%	83.6%	86.4%	86.9%	89.4%	86.0%

年間平均稼働率 81.8%

2. 年間入所者数

	男性	女性	計		男性	女性	計
4月	0名	2名	2名	10月	0名	1名	1名
5月	0名	4名	4名	11月	2名	1名	3名
6月	1名	1名	2名	12月	1名	2名	3名
7月	3名	7名	10名	1月	0名	1名	1名
8月	1名	1名	2名	2月	3名	4名	7名
9月	2名	2名	4名	3月	0名	5名	5名

年間入所者数 44名

3. 年間死亡・長期入院等による退所者数

	死亡者	長期入院者	その他		死亡者	長期入院者	その他
4月	1名	0名	1名	10月	4名	1名	0名
5月	1名	1名	0名	11月	1名	3名	0名
6月	0名	1名	0名	12月	1名	1名	0名
7月	0名	0名	0名	1月	1名	0名	0名
8月	3名	1名	0名	2月	2名	2名	0名
9月	2名	1名	0名	3月	2名	1名	0名

年間退所者数 31名

4. 年間延べ入院者数

4月	211名	10月	140名
5月	220名	11月	172名
6月	88名	12月	104名
7月	210名	1月	168名
8月	401名	2月	160名
9月	294名	3月	285名

年間延べ入院者数合計 2,453 人

年間稼働率の約 9.86%が入院となってしまった

※9月、2月にコロナ感染者、1月にインフルエンザ感染者発生。

計 16 名が入院

5. 事故・ヒヤリハット報告件数

4月	事故	6件	転落：2件 外傷：3件 内出血：1件
	ひやり	8件	内出血：5件 転倒：2件 誤配膳：1件
5月	事故	7件	外傷：2件 転落：2件 転倒：1件 盗食：2件
	ひやり	14件	内出血：10件 転倒：4件
6月	事故	8件	外傷：3件 転倒：2件 転落：3件
	ひやり	15件	内出血：14件 利用者間トラブル：1件
7月	事故	6件	外傷：1件 転倒：3件 転落：1件 頭部打撲：1件
	ひやり	18件	外傷・内出血：17件 職員への暴力行為：1件
8月	事故	14件	転倒：6件 転落：1件 盗食：1件 内出血：1件 外傷：4件 誤薬：1件
	ひやり	10件	内出血：8件 誤配膳：2件
9月	事故	8件	外傷：3件 転落：1件 転倒：2件 盗食：1件 BT 抜去：1件
	ひやり	16件	内出血：9件 外傷：1件 転倒：2件 転落：1件 異食：2件 落葉：1件
10月	事故	7件	外傷：3件 転倒：2件 転落：1件 誤薬：1件
	ひやり	7件	内出血：5件 転落：1件 転倒：1件
11月	事故	10件	外傷：5件 転倒：1件 転落：3件 盗食：1件
	ひやり	6件	内出血：6件

12月	事故	9件	転倒：4件 転落：2件 外傷：2件 利用者間トラブル：1件
	ひやり	11件	内出血：9件 転落：1件 盗食：1件
1月	事故	13件	転倒：4件 転落：5件 外傷：3件 オムツ交換中の事故：1件
	ひやり	18件	内出血：10件 転倒：3件 転落：5件
2月	事故	7件	外傷：2件 転倒：3件 転落：2件
	ひやり	9件	内出血：7件 転倒：2件
3月	事故	9件	転倒：4件 転落：3件 その他2件
	ひやり	6件	内出血：3件 転倒：3件
合計	事故	104件	
	ひやり	138件	

※2024年1月25日に発生した転倒骨折事故について、市・県へ報告

※2024年1月26日に発生した介助時骨折事故について、市・県へ報告

6. 会議開催報告

4月	職員全体会議 入浴・環境委員会会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 運営会議 衛生委員会会議	10月	職員全体会議(書面のみ) フロアー会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議
5月	職員全体会議 リーダー会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議	11月	リーダー会議 職員全体会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議
6月	職員全体会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議	12月	職員全体会議(書面のみ) リーダー会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 衛生委員会会議

7月	職員全体会議(書面のみ) リーダー会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議	1月	職員全体会議(書面のみ) 身体拘束適正化委員会会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議
8月	職員全体会議(書面のみ) 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議	2月	職員全体会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議
9月	職員全体会議(書面のみ) 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議	3月	職員全体会議 食事・事故委員会会議 排泄・褥瘡委員会会議 入浴・環境委員会会議 運営会議 衛生委員会会議

7. 当施設のインフルエンザ・感染性胃腸炎・コロナウイルスの面会制限について

2021年1月16日～ 2023年6月18日まで	<ul style="list-style-type: none"> ・面会、外出禁止 ・リモート面会のみ対応
2023年6月19日～	<ul style="list-style-type: none"> ・直接面会再開(月曜・土曜の週2日) <u>4組/日</u> 9:30～9:45、10:15～10:30、 14:00～14:15、14:45～15:00 ・2週間前から電話での予約制。面会上限人数は4名 ・ご利用者様お一人につき月1回まで (オンライン面会も含め) 新館1階食堂にて換気を十分に行いながら面会。面会後はテーブル、いす、スリッパ等を消毒してから次の組の面会者を案内している ・冠婚葬祭の外出は可となる ・リモート面会は水曜の週1回に変更 14:00～14:15、14:30～14:45 2週間前から電話での予約制

2023年12月23日～現在	<ul style="list-style-type: none"> ・直接面会（月曜・土曜の週2日）<u>6組/日へ変更</u> 9：30～9：45、10：15～10：30、10：45～11：00 14：00～14：15、14：45～15：00、15：15～15：30 ・2週間前から電話での予約制。面会上限人数は4名 ・ご利用者様お一人につき月1回まで（オンライン面会含め） ・新館1階食堂にて換気を十分に行いながら面会。面会後はテーブル、いす、スリッパ等を消毒してから次の組の面会者を案内している ・冠婚葬祭の外出は可 ・リモート面会は水曜の週1回 14：00～14：15、14：30～14：45 2週間前から電話での予約制
----------------	--

※ご家族から下記の意見・要望が出ている

○冠婚葬祭以外の外出をしたい

○もう少し面会時間を長くしてもらいたい

○部屋に上がって面会がしたい

○月1回以上面会がしたい

○面会時、好きなおやつを食べさせてあげたい

○月曜の朝、電話予約が殺到していて希望日・希望時間に予約できないことがある

8. 年間リモート面会利用実施報告

4月	7件	10月	0件
5月	8件	11月	1件
6月	2件	12月	0件
7月	0件	1月	0件
8月	0件	2月	1件
9月	2件	3月	1件

計 22 件

9. 年間直接面会利用実施報告 (Fa 来所人数)

4月	0件/0名	10月	17件/32名
5月	0件/0名	11月	19件/38名
6月	7件/17名	12月	25件/50名
7月	26件/62名	1月	7件/13名
8月	20件/57名	2月	20件/41名
9月	14件/32名	3月	10件/18名

計 165 件/360 名

10. オンライン研修実施報告

期間	研修項目	受講率
7月～ 9月	「高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修」【1回目/年2回】	96%
	「感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修」【1回目/年2回】	
	「事故発生又は再発防止に関する研修」【1回目/年2回】	
10月～ 12月	「身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修」【1回目/年2回】	96%
	「高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修」【2回目/年2回】	
	「感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修」【2回目/年2回】	
1月～ 3月	「事故発生又は再発防止に関する研修」【2回目/年2回】	89%
	「身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修」【2回目/年2回】	
	「褥瘡予防と褥瘡処置に関する研修」	

11. 年間行事等実施報告

4月	お花見ドライブ(佐倉ふるさと広場)	10月	9月、10月生 合同誕生日会
5月	4月、5月生 合同誕生日会	11月	11月生 誕生日会
6月	6月生 誕生日会	12月	12月生 誕生日会
7月	7月生 誕生日会	1月	新年顔合わせ 1月生 誕生日会
8月	8月生 誕生日会	2月	焼き芋会・2月生 誕生日会
9月	敬老会 八千代市より100歳記念品贈呈 (川城みち様・大網はな様)	3月	3月生 誕生日会

※焼き芋会については、寄付によるさつまいもを使用し、実施。

※誕生日会は今年度も栄養士・調理師の協力のもと実施。特別食の提供は利用者に大変喜ばれました。

12. 利用料金の変更について

2023年7月より下記利用料金に変更

	改定前	改定後	改定前との差額
食費	1445 円/日	1745 円/日	+300 円/日
居住費	855 円/日	955 円/日	+100 円/日
おやつ代	100 円/日	150 円/日	+50 円/日
日用品費	500 円/月 (16 円/日)	2100 円/月 (70 円/日)	+54 円/日
教養娯楽費	100 円/月	200 円/月	+100 円/月
預り金管理手数料	1300 円/月	1500 円/月	+200 円/月

市町村より負担限度認定を受けている場合、食費・居住費は認定証に記載してある額が負担額

※「食費」「おやつ費」「日用品費」は外泊・入院期間中は算定なし

13. フロアー 2023年度反省

2 F	<p>コロナがまん延した時期もあり、利用者の皆様は外出する事も出来ずストレスが溜まってしまわないかと心配ではありましたが、栄養士・調理師の協力のもと、施設内ではありますが利用者様全員のお誕生日会を実施し、皆様が大変喜んで下さった事などがストレスの解消になったのではと思います。それ以外は職員の人数も少なく日々の業務に追われ行事を実施することが出来ませんでした。もう少し工夫をして、少しでも利用者様を楽しませる事が出来たらと反省しています。コロナも落ち着いてきていますので、外出の企画をしていきたいと思います。</p>
3 F	<p>少しではありますが、天気が良く散歩が実施できた日もありました。利用者様も外の空気に触れたりお花を觀賞したり楽しそうにしてくださっていました。</p> <p>企画行事担当の方々が中心に誕生日会を行い、いつもとは違う食事などが楽しめて良かったと思います。</p> <p>体調に十分気をつけ、穏やかに過ごせるように、これからも見守りを行っていきたいと思います。</p>

14. 問題点等

- 9月、2月利用者にコロナ感染者発生。1月インフルエンザ感染者発生。計16名の入院者を出してしまった。入院中に5名が亡くなり、1名が長期入院の為退所となった。
- 重症者を入院させていただけるのはありがたいが、一度入院すると長期の入院と なってしまう事が多く、稼働率に影響が出ている。
- 現在も総括主任が夜勤、入浴の補助を行っている。もう少し全体を管理できるような体制にしていく必要がある。
- 看護職員不足のため、4月は「看護体制加算Ⅰ2」減算、70%の単位数「福祉施設Ⅱ・人欠」での算定となり、収入が大幅に減となった。5月より70%の単位数「福祉施設Ⅱ・人欠」は解消された。収入に大きな影響を与えるため、減算を受けぬよう、計画的な人事管理が重要。
- 定期的な待機者の調整が必要。
- 他施設と事前面接が重なることが多々ある。他施設も新規申込者へアプローチしているケースが多く、利用者の取り合いになっている。
- 現状では胃瘻、インスリン注射の利用者は受け入れ困難。
- 職員配置に余裕がない。手の込んだ企画行事の実施は困難な状況にある。
- 職員研修はオンライン研修で実施し、基準上必要な研修はすべてオンライン研修にて実施できた。今後の課題は「感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する訓練」「感染症及び災害に係る業務継続計画のための訓練」「非常災害対策に関する訓練」をどのように実施していくか施設で考えていく必要がある。

○喫煙所でのルールの徹底が必要である。コロナ感染が疑われる職員が喫煙所でマスクもせずに会話しているようでは何のための感染対策なのか本末転倒の話になってしまう。喫煙所内は喫煙のみで、会話は慎むよう徹底する必要がある。

○遅刻や欠勤、早退を繰り返している職員がいる。他の職員がやる気をなくし、辞めてしまう事につながってしまうので、そういった職員へは施設としてきちんと注意し、改善させていく必要がある。

○身体的拘束実施者はゼロ継続中

15. ショートステイについて

①延べ利用者数（空床利用のみ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用者数	0人	0人	0人	0人	7人	0人
稼働率						

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	0人	20人	15人	56人	68人	83人
稼働率						

1月よりロングショートを受け入れ開始。

稼働率維持の為に、毎月の従来型特養入院者数や退所者数を考慮し、2~3名/月をロングショートとして確保しておけると理想である。

ユニット型特別養護老人ホーム八千代城

1. 延べ入居者数及び稼働率

(介護報酬算定実施人数による。入院者・外泊者等除く。含む措置) 現在 30 床のみ稼働中

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用者数	812人	822人	756人	776人	765人	716人
稼働率	90.22%	88.38%	84.00%	83.44%	82.25%	79.55%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用者数	774人	771人	779人	747人	636人	673人
稼働率	83.22%	85.66%	83.76%	80.32%	73.10%	72.36%

※稼働率は30床で計算

年間平均稼働率 82.21%0

2. 年間入所者数

	男性	女性	計		男性	女性	計
4月	0名	1名	1名	10月	0名	2名	2名
5月	0名	0名	0名	11月	0名	0名	0名
6月	0名	0名	0名	12月	0名	0名	0名
7月	0名	0名	0名	1月	0名	0名	0名
8月	0名	0名	0名	2月	0名	0名	0名
9月	0名	0名	0名	3月	0名	2名	2名

合計 5名

3. 年間死亡・長期入院等による退所者数

	死亡者	長期入院者	その他		死亡者	長期入院者	その他
4月	0名	1名	0名	10月	0名	0名	0名
5月	0名	0名	0名	11月	0名	0名	0名
6月	0名	0名	0名	12月	1名	0名	0名
7月	0名	2名	0名	1月	0名	1名	0名
8月	0名	1名	0名	2月	1名	1名	0名
9月	0名	0名	0名	3月	0名	0名	0名

合計 8名

4. 年間延べ入院者数

4月	24名	10月	28名
5月	46名	11月	39名
6月	84名	12月	44名
7月	77名	1月	53名
8月	23名	2月	54名
9月	34名	3月	46名

計 552 名

5. 事故・ヒヤリハット報告件数

4月	事故	3件	転倒：3件
	ひやり	1件	転落：1件
5月	事故	7件	転倒：5件 転落：1件 服薬確認ミス：1件
	ひやり	2件	転倒：1件 火傷：1件
6月	事故	8件	転倒：4件 服薬確認ミス：3件 火傷：1件
	ひやり	1件	転落：1件
7月	事故	5件	転倒：1件 転落：1件 服薬確認ミス：2件 窒息：1件
	ひやり	0件	
8月	事故	3件	転倒：1件 服薬確認ミス：2件
	ひやり	1件	配膳間違い：1件
9月	事故	1件	転倒：1件
	ひやり	3件	打撲：1件 暴力行為：1件 転倒：1件
10月	事故	6件	外傷：1件 転倒：3件 服薬確認ミス：2件
	ひやり	0件	
11月	事故	5件	転倒：1件 服薬確認ミス：4件
	ひやり	0件	
12月	事故	4件	転倒：1件 服薬確認ミス：3件
	ひやり	2件	服薬漏れ：1件 転落：1件
1月	事故	3件	転倒：2件 服薬確認ミス：1件
	ひやり	4件	転倒：2件 転落：2件
2月	事故	5件	転倒：2件 転落：1件 服薬確認ミス：2件
	ひやり	0件	

3月	事故	3件	転落：1件 服薬確認ミス：2件
	ひやり	2件	転倒：2件
合計	事故	53件	
	ひやり	16件	

6. 会議開催報告

4月	4 Fフロア会議 3 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 運営会議 衛生委員会	10月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 運営会議 衛生委員会
5月	リーダー会議 3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 接遇委員会 運営会議 衛生委員会	11月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 運営会議 衛生委員会
6月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 身体拘束適正化委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 運営会議 衛生委員会	12月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 身体拘束適正化委員会会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 運営会議 衛生委員会
7月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 運営会議 接遇委員会 衛生委員会	1月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 運営会議 衛生委員会

8月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 運営会議 衛生委員会	2月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 運営会議 衛生委員会
9月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 身体拘束適正化委員会会議 事故対策委員会会議 褥瘡予防対策委員会会議 運営会議 衛生委員会	3月	3 Fフロア会議 4 Fフロア会議 褥瘡予防対策委員会会議 身体拘束適正化委員会会議 事故対策委員会会議 運営会議 接遇委員会 レク会議 衛生委員会

7. 当施設のインフルエンザ・感染性胃腸炎・コロナウイルスの面会制限について

2021年1月16日～ 2023年6月18日まで	<ul style="list-style-type: none"> ・面会、外出禁止 ・リモート面会のみ対応
2023年6月19日～	<ul style="list-style-type: none"> ・直接面会再開（月曜・土曜の週2日）<u>4組/日</u> 9：30～9：45、10：15～10：30、 14：00～14：15、14：45～15：00 ・2週間前から電話での予約制。面会上限人数は4名 ・ご利用者様お一人につき月1回まで（オンライン面会含む） 新館1階食堂にて換気を十分に行いながら面会。面会後はテーブル、いす、スリッパ等を消毒してから次の組の面会者を案内している ・冠婚葬祭の外出は可となる ・リモート面会は水曜の週1回に変更 14：00～14：15、14：30～14：45 2週間前から電話での予約制

2023年12月23日～現在	<ul style="list-style-type: none"> ・直接面会（月曜・土曜の週2日）6組/日へ変更 9：30～9：45、10：15～10：30、10：45～11：00 14：00～14：15、14：45～15：00、15：15～15：30 ・2週間前から電話での予約制。面会上限人数は4名 ・ご利用者様お一人につき月1回まで（オンライン面会含む） ・新館1階食堂にて換気を十分に行いながら面会。面会後はテーブル、いす、スリッパ等を消毒してから次の組の面会者を案内している ・冠婚葬祭の外出は可 ・リモート面会は水曜の週1回 14：00～14：15、14：30～14：45 2週間前から電話での予約制
----------------	--

※ご家族から下記の意見・要望が出ている

○冠婚葬祭以外の外出をしたい

○もう少し面会時間を長くしてもらいたい

○部屋に上がって面会がしたい

○月1回以上面会がしたい

○面会時、好きなおやつを食べさせてあげたい

○月曜の朝電話予約が殺到していて希望日、希望時間に予約できないことがある

8. オンライン研修実施報告

期間	研修項目	受講率
7月～9月	「高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修」 【1回目/年2回】	100%
	「感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修」 【1回目/年2回】	
	「事故発生又は再発防止に関する研修」【1回目/年2回】	
10月～12月	「身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修」【1回目/年2回】	100%
	「高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修」 【2回目/年2回】	
	「感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修」 【2回目/年2回】	
1月～3月	「事故発生又は再発防止に関する研修」【2回目/年2回】	100%
	「身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修」【2回目/年2回】	
	「褥瘡予防と褥瘡処置に関する研修」	

9. 年間リモート面会利用実施報告

4月	6件	10月	0件
5月	4件	11月	0件
6月	0件	12月	0件
7月	2件	1月	1件
8月	1件	2月	0件
9月	0件	3月	0件

計 14 件

10. 年間直接面会利用実施報告（実施利用者数／面会者数）

4月	0件/0名	10月	10件/21名
5月	0件/0名	11月	8件/16名
6月	5件/10名	12月	11件/24名
7月	8件/19名	1月	6件/14名
8月	11件/31名	2月	7件/22名
9月	8件/19名	3月	9件/20名

計 83 件/196 名

11. 年間行事等実施報告

7月	5月・6月・7月生まれ入居者合同誕生日会
8月	8月・9月・10月生まれ入居者合同誕生日会
9月	敬老会
11月	11月・12月・1月生まれ入居者合同誕生日会
1月	新年顔合わせ
2月	1月・2月・3月生まれ入居者合同誕生日会・焼き芋会

※やきいも会は好評いただく。寄付によるさつまいもで実施。

※コロナの影響により外出行事、季節行事の企画が困難であった

12. 利用料金の変更について

2023年7月より下記利用料金に変更

	改定前	改定後	改定前との差額
食費	1445 円/日	1745 円/日	+300 円/日
居住費	2006 円/日	2106 円/日	+100 円/日
おやつ代	100 円/日	150 円/日	+50 円/日
日用品費	500 円/月 (16 円/日)	2100 円/月 (70 円/日)	+54 円/日 外泊、入院時は算定 無
教養娯楽費	100 円/月	200 円/月	+100 円/月
預り金管理手数料	1300 円/月	1500 円/月	+200 円/月

市町村より負担限度認定を受けている場合、食費・居住費は認定証に記載してある額が利用者負担額となる。

※「食費」「おやつ費」「日用品費」は外泊・入院期間中は算定しません。

13. 各フロア2023年度反省

3 F	<ul style="list-style-type: none">・ 職員各自、入居者様の体調の変化や、職員自身の体調管理に気を配ることができました。・ 1月にフロア内で入居者の11名と職員2名がコロナに感染。うち2名の入居者が入院となってしまいました。今後もウィルスが入り込まないよう感染対策に努めていきます。・ 普段から慢性的に身体に痛みのある入居者に対し、重度化の発見が遅れてしまう事がありました。ルーティンワーク的対応をせず、注意深く観察し、少しの異変にも早急に気が付けるよう努めます。
-----	--

4 F	<p>個人課題について各職員とも、大幅な改善には至っていないが、目標にむけて、努力を続ける意欲はある。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今一度介護という仕事に向き合い、成長していきたい。・ 仕事に対し、頭では理解しつつも、行動が伴っていない時もあるが、目標に近づく努力をしていきたい・ 個人の、モチベーション向上には繋がっているので、2024年度目標に繋がっていければと思う。・ フロア全体のモチベーション向上までには至らず、個人課題を改善する事が、どう全体のモチベーション向上に繋がっていくか？をもう少しわかりやすくしておくべきであった。
-----	---

14. 問題点等

- 職員数不足により 2020 年 2 月より 2F フロアを閉鎖継続中。
- 空床となっている 1F・2F で下水臭あり。定期的に流水及び換気が必要。
- コロナの影響や職員人数に余裕がなく、外出行事等の企画が実施できていない。
- 身体的拘束ゼロを継続中。
- 褥瘡のハイリスク者が増加傾向。定時体位交換者が数名おり、対応中。
- 職員研修はオンライン研修で対応。
- 喫煙所内でのルールの徹底が必要。

八千代城デイサービスセンター

1. 統計（別紙あり）

延べ利用者数	営業日数	1日平均利用者数	年間稼働率	平均介護度
3585名	309日	11.6名	64.4%	1.9
利用者件数（R6.3月現在）		事故件数	苦情件数	新規件数
23件		0件	0件	13名
ヒヤリハット				
3件				

- ・今年度は、昨年度に比べて、延べ利用者数・稼働率・1日平均利用者数が大幅に減少する。永眠・長期入院・施設入所となる利用者が多く、利用廃止となった利用者数は17名であった。
- ・新規受け入れ利用者は、13名であり、昨年度よりも微増するが、短期で利用が終了となるケースが多く、稼働が伸びなかった。4・5・8・9・10・12月と新規利用者の受け入れがなく、令和6年1～3月は毎月2名の新規受け入れができた。ケアマネージャーより見学の問い合わせや利用相談の連絡はあるが、見学日前日にキャンセルになったり、利用相談があっても相談のみで利用までは結びつけないケースがあった。
- ・現在（R6.3月まで）の年間受け入れ状況は、下記の通りである。
 在宅介護支援センター八千代城受け入れ件数⇒17件 昨年度よりも減少。
 他事業所（要支援者含む）受け入れ件数⇒26件 昨年度よりも微増。
 在宅介護支援センター八千代城からの受け入れ件数に関しては、昨年度より減少。他事業所件数は、26件であり増加する。定期的な顔を合わせがケアマネージャーと出来ており、新規利用者の確保も出来ている。リピートしてくれる他事業所も増えている。
 他事業所のケースとして、老々介護の世帯、一人暮らしの高齢者世帯の依頼が多くみられている。特に、認知症の一人暮らしの依頼が多く、次年度は地域包括支援センターや他事業所へのPRとして、認知症の一人暮らしの方のちょっとした生活サポートをしていく事をケアマネへ伝えて、新規利用者獲得につながるよう検討します。
- ・当事業所を利用している他事業所のケアマネージャーとは定期的に顔を合わせて情報共有をしている。ケアマネージャーと顔なじみの関係が構築出来ており、信頼関係を築くことが出来ている。担当ケースのない事業所へ営業FAXをしているが、効果は出ていない。また、毎月営業まわりもしているが効果は見られていない。次年度も引き続き、他事業所の外回りと定期的なパンフレット・空き状況資料を配布していく。以前に問い合わせがあった事業所への営業も行い、新規利用者獲得につながるよう活動していく。また営業活動時には、当事業所を利用するメリットを明確に伝えることで効果がある物となるよう努めていく。

- ・ Facebook は、1 ヶ月に1回更新をしている。更新はしているが、閲覧数は横ばいである。次年度は Facebook の活用方法や継続を含め検討する。
- ・ 2018 年秋にデイサービスの新聞を作成し、定期的に発行していく予定だったが、今年度も発行することができなかった。次年度は印刷方法、新聞のサイズ、内容を変更し発行していく事を検討し年1回発行できるようにしたい。
- ・ 行政報告事故・苦情に関しては、今年度は、0 件であった。
- ・ ヒヤリハット・軽微事故は、3 件あり。
 - 1 件目：認知症のある利用者が、他の利用者がトイレに入っている時にカーテンを開けてしまう。職員がカーテン閉まっている時は空けないように説明するが、本人が行動を忘れており、職員と口論となってしまう。興奮され、身体がよろけて転んでしまい膝をぶつけてしまう。膝に痛みはなく、家族に報告し謝罪する。認知症の利用者の対応方法（職員を交代する、伝え方の工夫等）職員間で見直しを行なう。
 - 2 件目：自走している利用者がトイレに行こうとし、デイルームの出入り口の扉と車椅子のハンドリムに手を挟み、右手の甲に鍵状の裂傷ができてしまう。家族へ報告し謝罪する。職員が後ろで見守りをしていたが見落としてしまった。
 - 3 件目：認知症のある利用者が、自身の椅子に座り直そうとした時に、ゆっくりと滑り落ち尻もちをつく。尾骶骨あたりの痛みの訴えがあったが、その後は落ち着く。外傷はなく、痛みもその後治まる。家族へ報告し謝罪する。本人が着ていた衣類がナイロン製で滑りやすい素材であった。職員が、衣類の素材を確認し脱いでもらう等対応が必要であった。

認知症のある利用者が増えており、認知症の理解と対応方法を再度研修をしていく。「接遇マナー」、「苦情について」、「事故対策」等定期的な研修を行っていく。

2. 行事・外出報告

4月	お花見スライドショーと花見 外出	10月	お取り寄せスイーツ
5月	5/1 25周年 お祝い膳 お取り寄せスイーツ	11月	八千代城ハワイアンセン ター
6月	買物ツアー	12月	クリスマス会
7月	花火動画	R6. 1月	飯綱神社代行参りと新春 ゲーム
8月	夏祭り	2月	お取り寄せスイーツ
9月	敬老会	3月	買物ツアー

- ・施設内行事：お取り寄せスイーツは、バリエーションが豊富な為、シャトレーゼを利用する。参加する利用者は、ほぼ全員で、自身の好きなスイーツが食べられ、選べる種類もたくさんあるので評判が良かった。敬老会やクリスマス会もボランティアによる余興を行い、しばらくコロナ等で中止していたボランティアの方々との触れ合いができた。次年度もボランティア余興や利用者が楽しめる行事を行っていく。
- ・外出行事： 外出行事を再開する。4月の花見ドライブ、6月・令和6年3月の買物ツアーを行うことができた。買い物は、自身で選んで購入が出来るので、ご利用者の方々は喜んでいました。買い物は、一番人気があり、次年度も企画していく。初詣外出は、新型コロナウイルス・インフルエンザの感染者が増えてきた為、実施出来ず。今年度も、職員の代行となってしまう。次年度は感染状況を見ながら実施を検討していく。

3. 感染症状況

①新型コロナウイルス感染予防対策

(ダイルーム内)

- ・利用者のマスク着用
- ・アクリルパネルの設置
- ・ダイルーム内に入る前に、手指消毒を設置
- ・利用者帰苑後、テーブル、椅子、アクリルパネルの消毒

(送迎車)

- ・業務終了後、手すり等にハイター消毒と座席シートの消毒

②当事業所における発生状況

今年度、令和6年2月19日の週より、ご利用者2名と職員1名の陽性が判明しました。今回は、営業停止せず、注意して様子を見ていましたが、それ以降は感染者は増えませんでした。新型コロナウイルスが2類へ移行となったが、次年度も引き続き感染予防をしながら対応していく。

4. 地域交流とボランティア

- ・令和5年5月に新型コロナウイルスの扱いが2類へ移行となり、ボランティアの受け入れを徐々に再開する。令和5年7月より受け入れ再開し、敬老会やクリスマス会に参加する。ご利用の方々も、生演奏や昔懐かしい歌が聴けて喜んでいました。次年度は、受け入れボランティアを増やしていく。

5. 運営推進会議

今年度は、運営推進会議を開催する。

阿蘇包括職員・保品地区民生委員、介護相談員へ利用状況と活動状況を報告する。

令和5年8月23日：利用状況と活動状況を報告
令和6年2月28日：利用状況と活動状況を報告

6. 実習生受け入れ状況

①介護等体験実習大学生（令和5年7月31日～令和5年11月3日）

- ・受け入れ学生総数：12名 延べ体験日数：60日
- ・新型コロナウイルス感染予防対策としてして、実習生には、ワクチン接種の確認と実習期間開始2週間前から、症状チェック表の記載をしてもらい受け入れを行っている。また、実習中もマスク着用・手指消毒も行っている。
- ・実習生が認知症の男性利用者に腰を触られたとの事で悩んでしまう事があった。実習生本人への謝罪するとともに大学側にも連絡し謝罪をする。今回の件で、認知症状のある利用者の実習生との関わり方について、職員間で話し合い、実習生一人に対応させないようにすることとした。
- ・次年度も、実習生を受け入れて、定期的な収入を確保する。

②社会福祉士取得 実習生 1名受け入れ

令和5年度 八千代城デイサービスセンター利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	14	12	9	11	13	11	/	13	14	/	11	10
2	/	16	0	/	13	12	13	11	11	/	13	7
3	14	14	0	14	9	/	12	12	/	/	13	/
4	13	11	/	14	14	12	13	12	11	12	/	10
5	12	12	0	13	12	15	9	/	9	13	10	10
6	11	16	0	11	/	13	12	13	11	11	10	9
7	12	/	14	12	13	10	13	11	8	/	8	9
8	14	11	10	13	11	14	/	14	13	10	10	12
9	/	15	13	/	14	13	13	11	10	12	12	10
10	13	13	13	14	9	/	10	12	/	10	10	/
11	15	12	/	15	14	12	12	13	13	11	/	10
12	11	15	12	14	13	12	9	/	10	13	11	13
13	11	13	15	8	/	10	12	11	13	12	12	9
14	12	/	13	13	12	13	13	10	9	/	8	9
15	15	13	11	12	10	13	/	14	13	10	9	13
16	/	15	13	/	13	13	13	10	10	11	12	5
17	12	12	12	14	9	/	12	13	/	9	7	/
18	17	10	/	13	14	13	13	10	11	9	/	10
19	11	14	13	13	10	12	9	/	10	12	9	11
20	11	14	15	11	/	13	12	13	14	12	12	7
21	12	/	13	13	13	10	11	12	10	/	8	8
22	16	12	12	12	11	12	/	14	10	10	8	13
23	/	15	13	/	13	12	13	11	11	11	11	10
24	12	11	12	15	8	/	11	13	/	10	8	/
25	17	10	/	13	15	12	13	13	10	10	/	9
26	13	13	13	14	12	12	10	/	10	12	8	12
27	12	13	16	10	/	12	12	13	11	12	12	10
28	13	/	11	14	13	10	11	11	10	/	6	8
29	16	13	11	11	12	13	/	14	13	10	9	14
30	/	14	13	/	13	11	13	10	/	12	/	9
31	/	13	/	15	9	/	10	/	/	7	/	/
合計	329	352	277	332	322	315	304	314	275	261	247	257
地域密着	301	321	250	316	307	315	304	312	270	261	243	253
総合	28	31	27	16	15	0	0	2	5	0	4	4
平均	13.16	13.04	10.65	12.77	11.93	12.12	11.69	12.08	11	10.88	9.88	9.885
最大値	17	16	16	15	15	15	13	14	14	13	13	14
最小値	11	10	0	8	8	10	9	10	8	7	6	5
営業日数	25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26
実可動人数	27	27	27	27	26	23	26	25	26	26	27	27
稼働率	73.1%	72.4%	59.2%	70.9%	66.3%	67.3%	65.0%	67.1%	61.1%	60.4%	54.9%	54.9%
平均介護度	1.7	1.8	1.8	1.8	2.0	2.0	2.3	2.1	2.1	2.1	1.9	1.9

年間合計人数
3585
年間1日平均人数
11.6
年間平均稼働率
64.5%
営業日数
309
平均介護度(要支援も含む)
1.9

グループホーム悠々やちよ

1. 稼働と介護報酬の状況

	延入居者	稼働率	収入額
令和4年度	3,078人	93.69%	42,262,506円
令和5年度	3,154人	95.69%	43,147,964円

稼働

稼働目標 95%。稼働実績 95.69%

介護報酬

目標金額 30,230,000円 実績金額 30,112,619円 達成率 99.6%

介護報酬減…平均介護度 3 で想定→平均介護度 2.5~2.0 で推移

2. 入居申し込み等の状況

5名の申込に対し5名の入居契約。

相談・問い合わせは20件。

3. 入居者の状態

退居5名（八千代城入所2名、他施設入所2名、入院死亡1名）

入居5名

身体機能の低下による重度化した入居者2名が八千代城入所。八千代市内への特養入所1名。県外特養入所1名。当ホーム内での看取り中に家族の意向変更で入院後（入院期間9日）死亡1名。

新型コロナウイルス感染症が感染症法5類に移行後は、感染対策に留意しながら、ご家族との面会、外出・外泊を行っていただいた。歌のボランティアの来所等地域との交流も少しずつ増やすことを試みた。

2月中旬新型コロナクラスター感染が発生。入居者2名の陽性と6名のみなし陽性。職員3名が陽性となった。陽性となった入居者1名は肺炎を併発し入院。入院中に身体機能が著しく低下したが、退院後は徐々に回復している。

4. 事故・苦情

事故発生件数

転落・転倒	怪我	物損	暴力を伴うトラブル	誤薬・落薬	合計
24	3	3	1	3	34

※行政への事故報告…0件

苦情件数…0件

5. 職員の状況

3月末時点で介護職員数は常勤兼務1名常勤専従介護職員4名、非常勤5名概ね必要な出勤数を維持できている。日勤、早番、遅番、夜勤の交代のシフトもできている。常勤職員、非常勤職員共に有休休暇で休むこともできている。

6. 運営推進会議

対面方式

1回	2回	3回	4回	5回	6回
4/19	6/21	8/23	10/25	12/20	2/28

7. 八千代市実地指導

八千代市実地指導なし。

8. 外部評価

令和5年3月30日 依頼先：NPO法人コミュニティケア街ねっと
実施方式：訪問調査

9. 実習生受入

社会福祉士養成 1名

10. 働き方改革等

働く者の心と体の健康が守られることで入居者に良質なサービス提供が提供でき安定した雇用を維持できるような「魅力ある職場づくり」を目指した活動行い、ハラスメント、交通安全、受動喫煙の問題など様々なテーマに取り組みを継続している。

11. 職員研修

①認知症介護実践者研修…1名

②認知症介護基礎研修…2名

③内部研修…下記事業計画に基づき各自オンラインで研修を受講

令和5年度グループホーム悠々やちよ所内研修

月	研修項目	
7	非常災害時の対応に関する研修【1回目/年2回】	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修【1回目/年2回】
8	認知症及び認知症ケアに関する研修【1回目/年2回】	
9	事故発生又は再発防止に関する研修【1回目/年2回】	倫理及び法令遵守に関する研修
10	高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修【1回目/年2回】	身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修【1回目/年2回】
	プライバシーの保護の取り組みに関する研修	
11	接遇に関する研修【1回目/年2回】	非常災害時の対応に関する研修【2回目/年2回】
12	事故発生又は再発防止に関する研修【2回目/年2回】	身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修【2回目/年2回】
1	身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修【2回目/年2回】 期間外研修	緊急時の対応に関する研修
	認知症及び認知症ケアに関する研修【2回目/年2回】	
2	高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修【2回目/年2回】	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修【2回目/年2回】
3	接遇に関する研修	介護予防及び要介護度進行予防に関する研修

12. 身体拘束廃止検討会議

1回	2回	3回	4回
4/26	7/28	10/27	1/24

13. 虐待防止会議

1回	2回	3回	4回
5/22	8/22	11/29	2/26

14. 感染症対策会議

1回	2回	3回	4回
6/23	9/26	12/25	3/15

15. 消防・避難訓練

2回/年 実施（併設特養・ケアハウスと合同）

16. その他訓練

大規模停電時想定机上訓練…1/17

ケアハウス青空

1. 稼働状況について

月別稼働数

令和 5年／4月 ⇒ 20.0%	末日人数 3名	令和 5年／10月 ⇒ 64.7%	末日人数 10名
令和 5年／5月 ⇒ 29.0%	末日人数 5名	令和 5年／11月 ⇒ 66.6%	末日人数 10名
令和 5年／6月 ⇒ 39.7%	末日人数 6名	令和 5年／12月 ⇒ 70.1%	末日人数 12名
令和 5年／7月 ⇒ 42.7%	末日人数 8名	令和 6年／1月 ⇒ 74.1%	末日人数 12名
令和 5年／8月 ⇒ 57.8%	末日人数 9名	令和 6年／2月 ⇒ 84.8%	末日人数 13名
令和 5年／9月 ⇒ 65.7%	末日人数 10名	令和 6年／3月 ⇒ 86.6%	末日人数 13名

年間平均稼働率 58.5%

年間入居者数 12名

年間退居者数 2名

2. 行事・クラブ活動について

クラブ活動として、天気の良い日の散歩クラブ、施設内で実施している工作クラブを週に2回実施。工作クラブでは壁面紙工作や季節の作品を入居者とともに作成する。

居室内での閉じこもり防止や、入居者同士の交流の機会を増やすため、レクやクラブ活動、企画行事を積極的に行うよう努めた。また、介護予防として5月から毎日、午前・午後と元気体操を行なった。

年間行事等実施報告

4月	買物ツアー（2回）
5月	買物ツアー（2回） 菖蒲湯
6月	買物ツアー（2回） 外出行事（ラベンダー・佐倉ラベンダーランド）
7月	買物ツアー（2回） 七夕
8月	買物ツアー（2回） 施設内食事会
9月	買物ツアー（2回） 敬老会
10月	買物ツアー（2回） 外出行事（コスモス・佐倉ふるさと広場）
11月	買物ツアー（2回） 外出行事（美術展・八千代市民ギャラリー）
12月	買物ツアー（2回） 冬至（柚子湯） クリスマス会
1月	買物ツアー（2回） 新年顔合わせ（行事食）
2月	買物ツアー（2回） バレンタインデー
3月	買物ツアー（2回） お花見散歩

3. 感染症対策について

施設内でのインフルエンザ・コロナウイルス等感染症発生状況

令和5年12月 インフルエンザ陽性 入居者1名

令和6年 3月 コロナ陽性 入居者4名 職員1名あり

感染症上記感染症による入院者はなかった。

各居室での療養だったが、大きく広がることなく収束した。

今後も感染症対策として、こまめな換気や手すり等、職員・入居者共に触れることの多い箇所の消毒、入居者の体調管理を行い、感染症が蔓延しないよう徹底する。

4. 入居者確保について

令和5年8月より生活保護受給者の受け入れを開始。

(令和6年3月時点 2名入居中)

15床満床に向けて、外部施設紹介会社に当施設の紹介を依頼し、インターネット広告等にも当施設の情報及び空き部屋情報を掲載し、入居者の募集を行う。電話での問い合わせや見学対応等を行ったが、入居まで繋がったケースは少なかった。今後も満床・待機者確保に向けて積極的に対応していく。

5. 病院受診の送迎について

入居者の定期受診及び定期受診以外の診療科利用も増えているため、可能な限り、病院受診送迎サービスを実施していく。

6. 居宅介護サービスの利用について

○当施設入居中の方で、家事援助および介助の必要な方が必要なサービスを利用できるように、当施設職員及び居宅サービス関連機関、入居者のご家族と連携を図り、入居者個人の希望や本人のADLなどに応じた介護サービスを当施設内で提供し、快適な生活が送ることが続けることができるよう今後も支援していく。

令和5年度 ホームヘルパーサービス 利用者数	男性	女性	事業所 ・在宅介護センターてまり
	0名	1名	

○デイサービス（八千代城）週間利用者数

月曜日：0名 火曜日：1名 水曜日：1名 木曜日：1名 金曜日：0名
土曜日：1名

○デイサービス（外部 事業所）週間利用者数

月曜日：0名 火曜日：2名 水曜日：0名 木曜日：2名 金曜日：0名
土曜日：1名

計4名デイサービス利用中

7. 課題点

- ・入居が増えるに伴い、入居者同士のトラブルや入居者と職員でのトラブルが増えてきている。都度、相談員が介入し対応しているが、解決が困難なケースも出てきている。
- ・職員間で業務の内容についての認識に相違があるため、再度業務内容をすり合わせる必要がある。
- ・職員研修の充実が必要
- ・居室内のナースコール設備に不具合が生じており現在修繕対応中。

八千代市在宅介護支援センター八千代城

1. 受け入れ件数（総合事業含む）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
27件	32件	32件	32件	33件	36件
10月	11月	12月	1月	2月	3月
42件	52件	49件	44件	45件	51件

合計 475 件

- ① 地域包括支援センターからのケース紹介や退職するケアマネージャーの引継ぎケースがあり、受け入れ件数を伸ばすことができました。3月は取り扱い件数が41件になり、1件分単価が低くなってしまったので、取り扱い件数を把握し、損失がないように気をつけて対応していきます。
- 加算は、「初回加算」の算定のみで、他加算の算定は出来ませんでした。
- その分、八千代市や他市町村からの認定調査の受け入れを積極的に行ない、結果として31件実施しました。
- 認定調査は、定期的な依頼が多く、次年度も継続的に受け入れていくこととします。
- ② 令和5年4月27日に八千代市役所長寿支援課4名が来苑し運営指導が実施されました。結果、「退院・退所加算」のカンファレンスの記録がない状態で算定していた事が分かり、過誤申し立て提出、当該加算分の返戻を行ないました。また、記録について5年間の保存が適正に行われていなかったことも分かりました。改善報告書を八千代市役所長寿支援課へ提出。今後、定期的にケアプラン関係書類を点検し、不備がないように努めます。
- ③ 研修会参加し、地域交流やケアマネジメントの質を確保することができました。
- ※八千代市地域包括支援センター主催ケアマネジメントの研修会
令和5年7月13日 「ICFの学び直し～強みを活かしたケアマネジメント」
 - ※八千代台地域包括支援センター開催の交流会、
令和5年10月11日「西北区民生委員児童委員協議会・ケアマネージャー交流会」
 - ※千葉県社会福祉協議会主催
令和5年11月17日・11月29日
「主任介護支援専門員・管理者のための組織マネジメント研修」
 - ※令和5年度介護認定調査員現任研修
令和6年2月29日 「(ZOOM)認定調査の基本的な考え方」
 - ※八千代台地域包括支援センター開催の交流会、
令和6年3月8日「東南区民生委員児童委員協議会・ケアマネージャー交流会」
 - ※千葉県高齢者福祉施設協会主催
令和6年3月19日「令和6年介護保険制度改定・報酬改定について」

次年度も、地域包括支援センター主催の研修やケアマネジメント質を確保する

ための研修会へ参加していきます。

2. 苦情件数 1件

(1件目) 担当ケース家族が来苑

平成28年に担当していたケアマネージャーと一人暮らしをしていた弟の部屋の鍵の返却等のやり取りがうまくできておらず、担当が外れた後も、今まで気持ちの面で腑に落ちなかったと苦情あり。家族の話を傾聴し謝罪しました。昨年も来苑したケースであり、家族も理解はしてくれているが、話を聞いてもらいたい様子でした。引き続き様子を見ていき、必要があれば対応することとします。

3. 次年度への課題等

令和6年度は、事業所の目標数値を維持し、着実なケアマネマネジメントを行い、引き続き安定した経営が保てるように努めます。